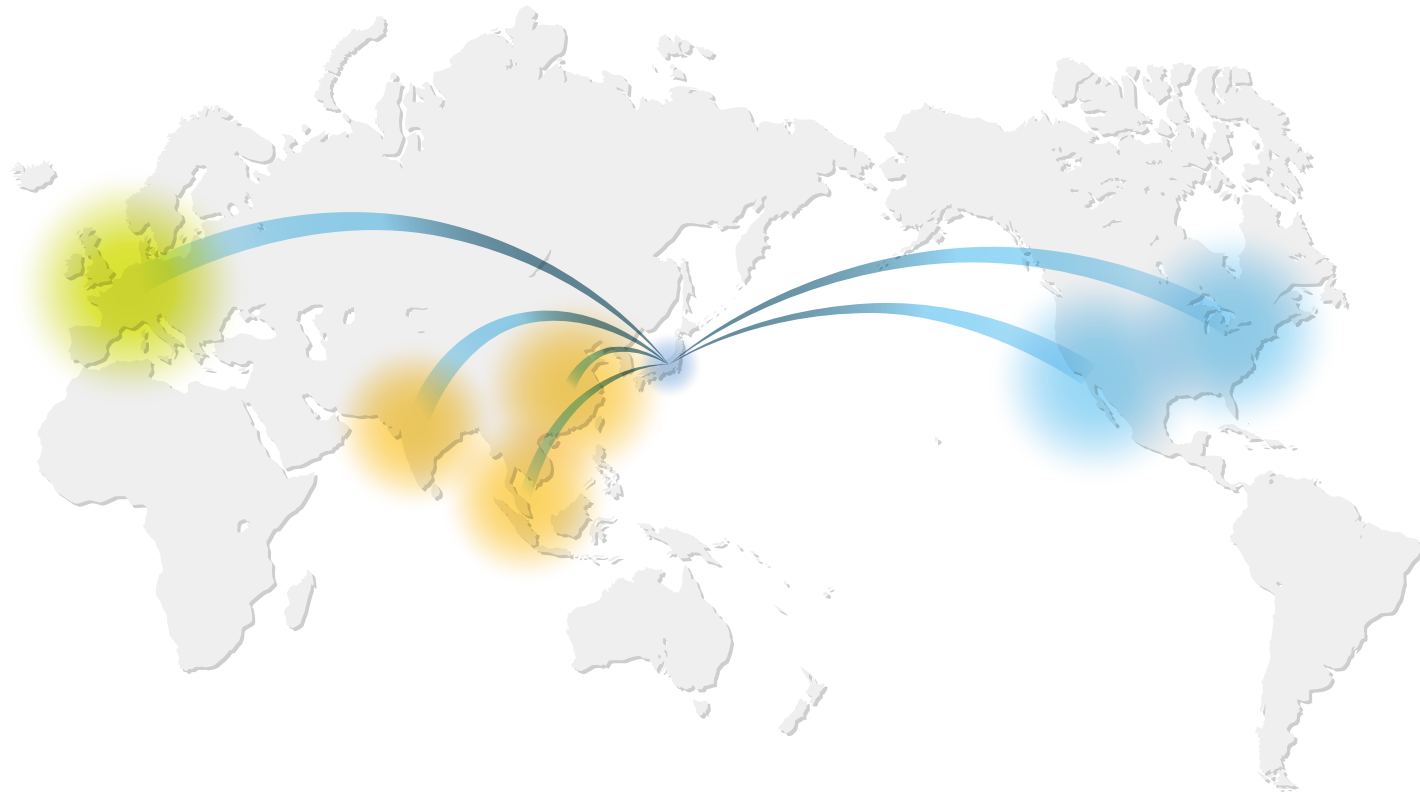


Global Locations



Corporate Data

商号	株式会社ダイセル
英文商号	Daicel Corporation
設立年月日	1919年9月8日
本社所在地	大阪 大阪市北区大深町3-1 (グランフロント大阪タワーB) 東京 東京都港区港南2-18-1 (JR品川イーストビル)



大阪本社



東京本社

ダイセル コーポレートサイト
<https://www.daicel.com>



株式会社ダイセル

広畑工場

〒671-1123 兵庫県姫路市広畑区富士町12

TEL : 079-238-1211

FAX : 079-238-1230

2021.12.000.HP

HIROHATA PLANT

DAICEL
Sustainable Value Together

株式会社ダイセル
広畑工場





生産と開発が連携し、日々変化する市場ニーズに対応しています

株式会社ダイセル 広畑工場は、ダイセルが「合成樹脂事業」の拡大を目指して1993(平成5)年に設立した、ダイセルグループの国内で最も新しい工場です。海底トンネルでつながるダイセル網干工場から、モノづくりに必要な電気、蒸気、水などの供給を受けています。

広畑工場で生産している合成樹脂(プラスチック)製品は、自動車、パソコンなどのOA機器、エアコンや掃除機などの家電製品といった、普段皆さんが手にする身近なものの部品として広く使われています。ダイセルグループは合成樹脂製品をグローバルにお届けしており、広畑工場はその主要拠点です。

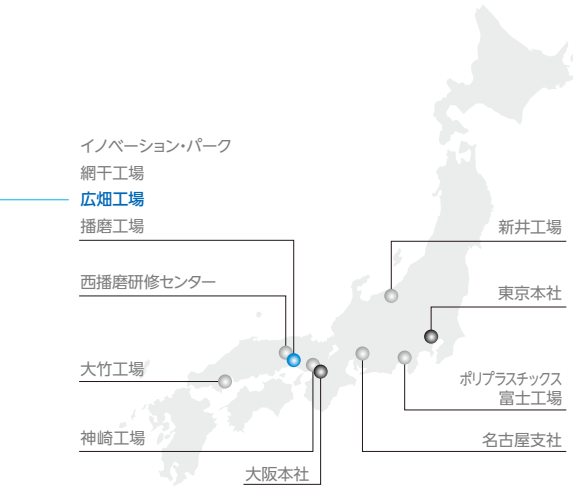
広畑工場には、モノを作る生産部門だけでなく、研究開発や技術サポートを担う部門を備え、生産部門と研究開発部門が密に連携し、市場ニーズにお応えする製品をタイムリーに送り出しています。



重合プラント



樹脂コンパウンド設備



広畑工場のあゆみ

西暦	和暦(年)	できごと
1993	平成5	広畑工場設立
1994	平成6	操業開始(OPSシートの製造)
		網干工場との海底トンネル開通(全長:約600m)
1996	平成8	事業拡大(PS樹脂・AS樹脂の製造)
		(樹脂コンパウンド品の製造)
		(BOPSシートの増産)
		(CPSシートの製造)
1999	平成11	PS重合設備を東洋スチレン(株)に移管
2006	平成18	技術開発センターを堺工場から広畑工場へ移転
2012	平成24	事業拡大(長繊維強化樹脂の製造)



シート成形設備



試験成形機



長繊維強化樹脂製造設備

Products

広畑工場の製品

広畑工場では、ダイセルグループが長年培ってきた樹脂配合技術、重合技術、多様な素材を駆使した樹脂（プラスチック）製品を製造しています。樹脂にさまざまな特性を与えることで、お客様の目的や用途に応じた製品をお届けしています。特殊な機能が求められるニッチな分野にも個別に対応しています。

汎用機能性樹脂

広畑工場が開発・製造した製品は、日々の生活のさまざまな箇所で、広く利用いただいています。



導電性樹脂

金属代替としてますます拡大する導電性・帯電防止性・電磁波シールド性を持つプラスチック材料です。使用用途（表面抵抗値など）に応じてラインアップしています。



フォトマスクケース



スマートフォン

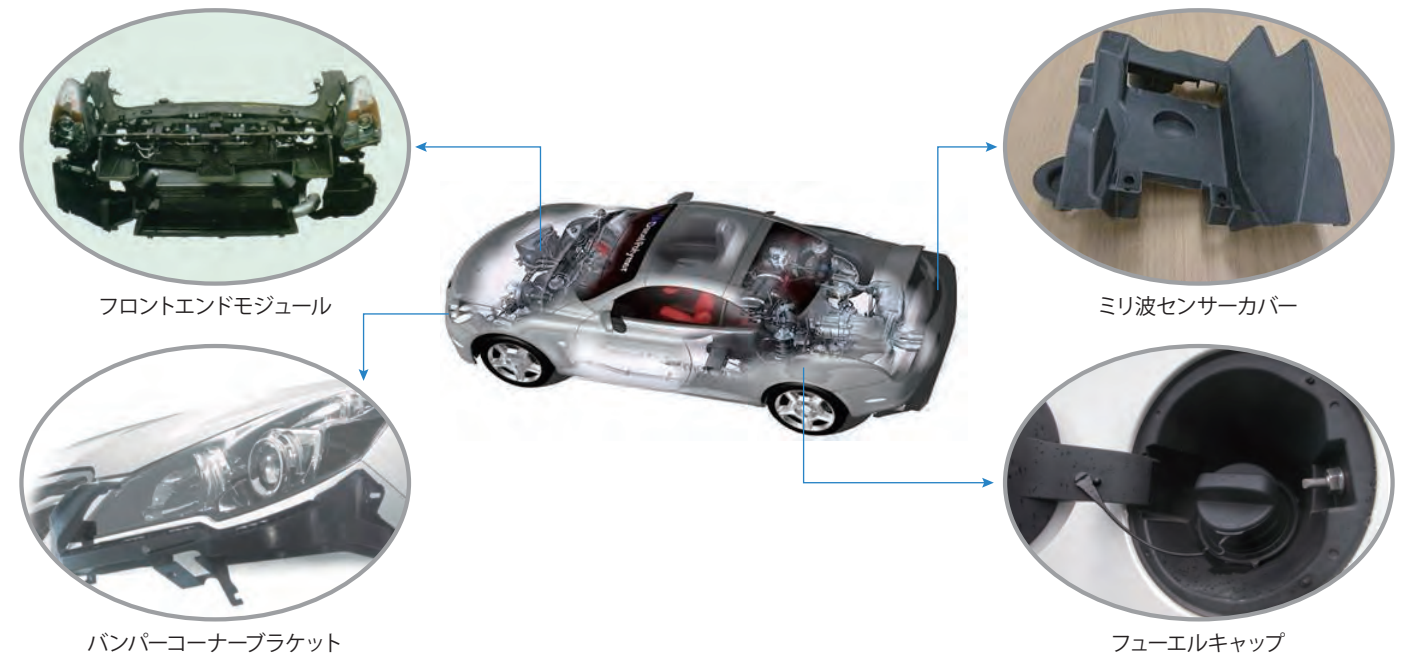
カメラモジュール



紙幣・硬貨識別機

長繊維強化樹脂

独自の複合技術で、硬さ強さを兼ね備え、高い寸法精度と広い使用温度領域を達成した、金属やFRPの代替となるプラスチックです。軽量で熱を加えることでさまざまな形状に加工できます。



フロントエンドモジュール

バンパーコーナーブラケット

ミリ波センサーカバー

フューエルキャップ

その他

◆ ポリスチレン透明シート「BOPS」

高い強度を持つ透明なプラスチックシートです。さまざまな形状に加工でき、水分による容器の曇りを抑える機能を付与することも可能です。弁当容器やフードパックなどに広く利用いただいています。



◆ 押出機・成形機洗浄剤「セルパージ」

主にプラスチック製造で使用する「押出機」「成形機」の洗浄剤です。作業時間の短縮、清掃に用いる樹脂量の削減が可能で、省エネルギー・省資源など環境保護にもつながります。

◆ 金属/異種材接合技術「DLAMP®」

金属と異種素材（樹脂、ゴム、異種金属）を接合させるための金属の表面処理技術です。

レーザで形成した微細凹凸表面に異種材料を流し込むことで、強固に接合します。

自動車や産業機器など様々な分野にて開発を進めています。

TOPICS HIROHATA

広畑工場の特徴

安全の確保

モノづくりにおいて「安全の確保」を最優先とし、事故・災害の予防に細心の注意と対策を行うとともに、万一事故や災害が発生した場合を想定した被害拡大防止の取り組みを進めています。

セキュリティ管理

工場への出入りでは、従業員を含むすべての方に対して、一人ひとりの身元確認を行っています。不審者の侵入を防ぐことで、工場で使用する化学物質の持ち出しや悪用、災害の防止に努めています。



工場正門



入出管理システム



危険物倉庫

保安防災

消防車をはじめ、万一の場合を想定した防災資機材を常備し、定期的に点検するとともに、実際にそれらを使った実践的な訓練を繰り返し行っています。

また工場で使用する化学物質などは、数量を含め厳重に管理しています。



放水訓練



消防設備

環境に配慮した製品

プラスチックを主な製品とする広畑工場では、「環境保護」に配慮した商品設計を進めています。その一つとして、ダイセルグループが蓄積したセルロース技術を利用した自然素材による製品を開発し、市場拡大に取り組んでいます。



輸送コンテナ (セルブレンC使用)

～グローバルに製品を発信～

ダイセルグループは、合成樹脂製品をグローバルにお届けしています。広畑工場はアジア向けを中心に、生産および技術開発の拠点として機能しています。広畑工場だけでモノづくりをするのではなく、各地の拠点と連携した現地生産を含め、お客様へタイムリーに製品をお届けしています。



生産・品質管理体制

広畑工場内での製造に加え、多様なニーズにお応えできるよう、国内外で委託製造を行い、安定供給に努めています。全ての製品は、内製・委託製造を問わず、同一の厳しい品質基準に従って管理しています。



試験製造



品質管理

研究・開発体制

広畑工場の研究開発部門は、アジア地域の各拠点と連携して、お客様の要求に沿った技術サービスをお届けしています。また、中国を拠点とするグループ企業 (Shanghai Daicel Polymers, Ltd.: SDPL) と密に交流し、相互の技術力向上に取り組んでいます。



広畑工場



SDPL